

シンポジウム 津波被災文化財再生への挑戦 -東日本大震災から5年-

ハンボルト大学津波防災センターのロリー・デングラー教授は、被災地から太平洋を漂い2年かかってカリフォルニア州クレセントシティに漂着した練習船かもめを確認し、陸前高田へ返還するきっかけをつくりました。基調講演では専門の津波防災、そしてクレセントシティと陸前高田市の高校生の間に生まれた友情と絆、そこから生まれた絵本についてお話しいただきます。

シンポジウムの最後は、CD「天に響け」で津波被害から復活したリードオルガンの演奏・作曲を担当したピアニストの中村由利子さんの演奏で、復興への祈りを東北に届けます。



プログラム

- 13:30-13:40 開会挨拶 東京国立博物館長 錢谷眞美
13:40-14:40 基調講演「大津波と被災地交流（仮）」
米国ハンボルト大学津波研究センター
教授 ロリー・デングラー
14:46-14:47 黙祷
14:48-15:00 休憩
15:00-16:30 パネルディスカッション
「復興について」
半田昌之（日本博物館協会）
熊谷 賢（陸前高田市立博物館）
「技術について」
赤沼英男（岩手県立博物館）
「組織について」
栗原祐司（国立文化財機構）
益田兼房（国立文化財機構）
「使命について」
神庭信幸（東京国立博物館）
16:35-16:55 ピアノ演奏「天に響け」他
中村由利子（ピアニスト・作曲家）
16:55-17:00 閉会の言葉
岩手県立博物館長 中山 敏

東京国立博物館平成館大講堂 会場案内



申込み方法

平成28年3月4日(金)までに、Eメールにて、お申し込みください。
件名を「シンポジウム参加希望」として、
①氏名とふりがな、②所属、③連絡先電話番号、
④Eメールアドレスをお書きください。
※事前にお申込みください。先着順といたします。

申込み・問合せ先

日本博物館協会「津波被災文化財シンポジウム係」
Eメール：webmaster@j-muse.or.jp
電話：03-5832-9108 FAX：03-5832-9109



このシンポジウムは
文化庁「平成27年度文化芸術振興費補助金
(地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業)」

の交付を受けて実施します



■開催日

平成28年3月11日(金)
13時30分～17時00分

■会場

東京国立博物館平成館大講堂

■定員

300名(事前申込み、先着順)

■参加費

無料